

「最新の裁判例からみたインターネット上の 商標権侵害と対応策」



～商標権侵害トラブルを回避するために～

インターネットの発達により、ネット特有の商標の問題が顕在化するとともに、メタタグ（キーワード、ディスクリプション）、検索連動型広告、ショッピングモールでの偽物販売、国境越えなどの裁判例も多数出てきました。

本講座では、まず、ネット上で使用されている商標、商品、役務についての適格な把握と商標の事前調査、出願の実務について説明し、次に、商標権侵害の基本的な説明を行い、その特異な態様としてのインターネット上の商標権侵害について、最新の裁判例を交えながら、条文に即して、分かりやすく解説します。そして、最後にドメイン名の紛争処理、ネット上の画像デザインの保護について解説します。

本講座に参加することにより、リアルな世界にはない、ネット特有の商標問題の把握とその解決方法を身につけることができます。ネット上の商標権侵害トラブルに巻き込まれないように、本講座の受講をお勧めします。

奮ってご応募いただきますようお願い申し上げます。

【主催】 一般社団法人大阪発明協会

【開催日】 平成30年3月23日（金）10:00～17:00

【開催場所】 大阪大学中之島センター 5階講義室507

大阪市北区中之島 4-3-53 06-6444-2100

【講師】 青木 博通 氏（ユアサハラ法律特許事務所 パートナー弁理士）

【定員】 50名（定員になり次第締め切ります。）

【参加料】 会員13,500円（一般21,000円）（テキスト代、消費税8%込）

※ 2名以上お申込みの場合、2人目から50%引き（大阪発明協会法人会員のみ）

②(1) 3日以内のキャンセルの場合、受講料はお返しできませんので予めご了承下さい。

(2) 聴講券、納品書又は請求書は、講座開催日の10日前頃に郵送いたします。

(3) 他府県発明協会会員でも会員料金で受講できます。

【プログラム（案）】

1. インターネットに対応した商標法・不正競争防止法改正の歴史・概要
2. ネット上使用される商標は、どんな商品・役務に使用されているか
3. ネット上使用されている表示で、商標に該当するものはどれか

(1) 商標の種類から見た分類

(2) 使用行為から見た分類

4. どの商標をどの商品・役務について、調査・出願すればよいか
5. 商標権侵害の要件
 - (1) ネット特有の商標の類似・取引の実情（階層性等）
 - (2) ネット特有の商品・役務の類似
 - (3) ネット特有の商標的使用
 - (4) ネット上の商標の使用と「使用の定義」（2条3項）へのあてはめ
6. ネット特有の商標権侵害の問題点（欧米の状況を含む）
7. ネット上の商標の使用と不使用取消審判
8. ネット上の商標の使用と不正競争防止法（ドメイン名等）
9. 対応策（WIPOの共同勧告を踏まえて）
10. ドメイン名紛争処理
11. 画像デザインの保護（商標法、意匠法、不競法、著作権法）

----- 切り取り線 -----

大阪発明協会 企画サービスグループ行き		FAX 06-6479-3930	
中級向け 知的財産セミナー 申込書			
2018年3月23日開催			
「最新の裁判例からみたインターネット上の商標権侵害と対応策」			
申込日 平成 年 月 日			
会社名 又は氏名		部署名及び 連絡担当者	
ご住所 〒			
TEL		FAX	
受講者氏名		所属部署名	実務経験年数
e-mail		ご専門 (例)電気機械	
受講者氏名		所属部署名	実務経験年数
e-mail		ご専門 (例)電気機械	
※お申し込み者宛に、国の説明会、講座・セミナーほかの情報をご案内させていただく場合があります。なお、案内などを希望されない場合は、当協会へお申し付けください。 ※許可なくして講義内容を録音することを固く禁じます。			

お支払方法 (予納金・現金・銀行振込)

1. 請求書 (要 不要)

振込先銀行 三井住友銀行 大阪本店営業部 普通預金 7900182

三菱東京UFJ銀行 中之島支店 普通預金 0042472

2. 予納金処理の方 得意先コード

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

会員・非会員の区別 (法人会員・個人会員) 発明協会 ・一般)